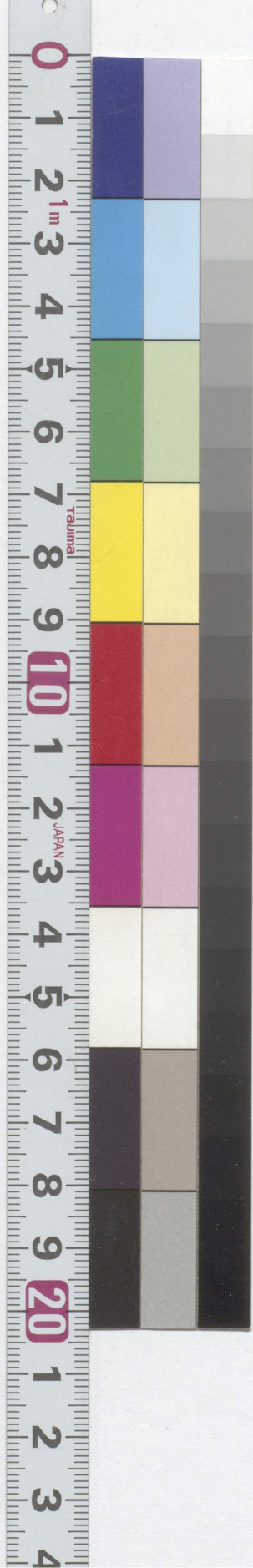


# 真元算澁

自方位算法  
至圓理豁術  
中





司天家内 武田主計 正源真元 閱

浪速 同男 武田篤之丞 源多則 撰  
 同 門 安達數馬 藤原利繁 編  
 泉州 人 玉田庄兵衛 橘秀行 訂  
 備中 人 太田猶太郎 源直温 校

真元算法中之卷

八宅三元生命宮を知る法

今天保七年丙申年二十六才のちる男女ハ宅命宮いふんといふ

善曰

男 良命宮  
女 元命宮

十年の九星何れも中宮を算  
 今年五亥中宮ありといふ  
 此十才の人生と年の中余  
 中宮ある数いふといふ  
 善曰 三碧中宮あり  
 秘曰今年中宮五亥ありといふ  
 五と五内宮と減して十と  
 年数に十に掛けては十八と  
 九とて四減して余三と  
 ちるは三碧と知る

秘曰文化元年甲子より天保七年丙申より  
 十才三才を十を移さんへ一とて約めて毎財ハ六ツと  
 まる人の年数十六年も一とて約めておくといふハ七と  
 秘十六才ハ文化元年より後の生を中法と云ふ

真元算法 卷之中

又四今年八白東の知の九  
百五十年己未八知の方の九  
星はくんと  
星はくんと

善曰 知方 日縁  
御日赤御のやく八白やれハ  
八と重内二を減一余り七  
と此年殺五十五加二百十  
七と此九と波と八累減して  
余り也此年日縁と知の九  
余の此方順して知の九

今今年六白西の方より  
年よりこの五十年後  
西の方九星のくんと  
善曰 西の方 八白

御日六白の殺のくんと定一  
と加て七と此内三の五と  
引ぬ中右の七と定てこの  
五十年よりましくやると定ぬ

と甲未加してこの年八と  
内三の五と減一余り八  
と此年九と八とまると  
余の此方

九星 五行

一白水	二黒土	三碧木
四緑木	五黄土	六白金
七赤金	八白土	九紫火

右九星吉凶の見ゆ  
くんと天保七丙申のく  
ぬハ左のぬく九星揃還  
此方 弟つて五十年人未  
方へ妾宅様仍相法愛後  
星をくんと大射令とて大  
凶一と此年六白の金の命  
一とけ年赤八の九星と  
此方より若星の方のく  
け年と方刻一白の水と

算術 算法

下元の生と依てたふ下元表を檢  
と一殺多とた文化元年より  
中元の生と依て即中元表を  
光より順より入受てこの  
運より入受へて七ツ目ハ  
子ハ良命を以て八宅命宮  
ト元表の下良よりさうに  
ホの巽より又順より入受  
弟年十六の女子ハ元命を  
べ一若中より入受るとハ  
而して乾兌坤艮を西向令  
命とて我一生終処居宅の  
十三より人の  
男子ハ上の  
男子ハ上の  
男子ハ上の  
男子ハ上の

亦御日矩は女三十二と  
若星減りし物と此方  
加て減之昂中元の生と  
一減一 若星減りし物  
九をくんと累減して  
次坤を居巽中乾兌良巽と  
女の命宮光とまると一  
一女子坤とまると一  
右八宅命宮ハ男女とも一  
而して宅をぬぬ宅を換へ  
凶をぬぬぬ法ぬぬぬぬ  
百後との身すぬぬ

三元生命宮

上元表	坎	離	艮	兌	乾	中	巽	震	坤
中元表	巽	震	坤	坎	離	艮	兌	乾	中
下元表	兌	乾	中	巽	震	坤	坎	離	艮

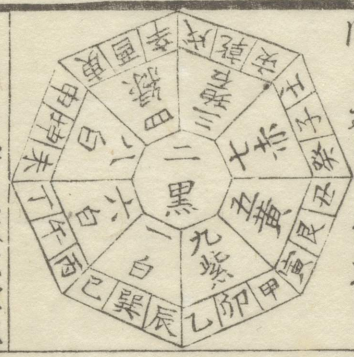
亦御日矩は女三十二と  
若星減りし物と此方  
加て減之昂中元の生と  
一減一 若星減りし物  
九をくんと累減して  
次坤を居巽中乾兌良巽と  
女の命宮光とまると一  
一女子坤とまると一  
右八宅命宮ハ男女とも一  
而して宅をぬぬ宅を換へ  
凶をぬぬぬ法ぬぬぬぬ  
百後との身すぬぬ

一	二	三	四	五	六	七	八	九
坎	坤	震	巽	中	乾	兌	艮	離

右八宅命宮ハ男女とも一  
而して宅をぬぬ宅を換へ  
凶をぬぬぬ法ぬぬぬぬ  
百後との身すぬぬ

算術 算法

命主命主水とて大木をかり  
 ともて一載ももめおれ  
 方位字の吉凶をさして  
 して命主命主とて多かれを  
 災とせしめよあはれにぞま  
 所を判後を修之とて



相生 お水生木 木生火 火生土 土生金 金生水 水相剋  
 相剋 木剋土 土剋水 水剋火 火剋金 金剋木  
 木土 土水 水火 火金 金木  
 人の千支を知らざらん  
 今年天保七年丙申の年

大と郷のこのゝゝゝとて  
 をして月いゝゝゝとて法なり  
 八宅表

命宅	延年	伏位	生氣	延年	絶命	五鬼	六煞	天醫	伏位	延年	絶命	五鬼	六煞	天醫	伏位	延年	絶命	五鬼	六煞
乾命宅	凶次	天醫	吉中	五鬼	凶大	禍害	凶次	絶命	凶大	延年	吉上	生氣	吉上	伏位	吉小	延年	天醫	吉中	五鬼
坤命宅	絶命	生氣	禍害	五鬼	六煞	伏位	天醫	延年	絶命	五鬼	六煞	生氣	天醫	延年	絶命	五鬼	六煞	生氣	天醫
艮命宅	五鬼	伏位	六煞	絶命	禍害	生氣	延年	絶命	五鬼	六煞	生氣	天醫	延年	絶命	五鬼	六煞	生氣	天醫	延年
巽命宅	天醫	六煞	伏位	延年	絶命	五鬼	六煞	生氣	天醫	延年	絶命	五鬼	六煞	生氣	天醫	延年	絶命	五鬼	六煞
坎命宅	伏位	五鬼	天醫	延年	絶命	五鬼	六煞	生氣	天醫	延年	絶命	五鬼	六煞	生氣	天醫	延年	絶命	五鬼	六煞
離命宅	延年	禍害	生氣	天醫	伏位	六煞	五鬼	絶命	禍害	六煞	五鬼	絶命	禍害	六煞	五鬼	絶命	禍害	六煞	五鬼

右命宅おとそ月いやく、門藏庫井戸もいやく、吉方なり  
 す、吉、及、電、ハ、凶、方、又、火、口、も、吉、方、又、向、ふ、も、吉、と、い、ふ、も  
 子午卯酉寅申巳庚の吉申又入口を南にうゝ、北にうゝ、余種  
 とて、又、あり、傳、より、うゝ、ま、た、と、い、ふ

十六支、人、を、十、千、十二、支  
 命主命主水とて大木をかり  
 ともて一載ももめおれ  
 方位字の吉凶をさして  
 して命主命主とて多かれを  
 災とせしめよあはれにぞま  
 所を判後を修之とて

本年命主的殺を知らざらん  
 た、い、當、年、三、十、五、支、人、の、年、的、殺、方、位、い、ん、と、い、ふ

年命的殺	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	坤	坎	離	艮	兌	乾	中	巽	震
	坤	坎	離	艮	兌	乾	中	巽	震

月本命的殺早らうとん  
 善日 月の殺 中宮

善日 乙ノ時  
 湖日丙ノ時殺二ノ時二十  
 二ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 の矩殺八ノ時二十ノ時二十  
 十ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 丙申より二ノ時二十ノ時二十  
 一ノ時二十ノ時二十ノ時二十

十一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
干	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬
癸	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬

人ノ年殺と知る事  
 今天保七年丙申の...  
 庚戌の年八ノ時二十ノ時二十  
 善日 四十七年  
 湖日庚より丙と申する殺  
 七ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 於こころを並成より甲  
 進むる殺十ノ時二十ノ時二十  
 十ノ時二十ノ時二十ノ時二十

湖日年殺二ノ時二十ノ時二十  
 丁丑年 中 巽 震  
 丙申年 兌 乾 坤 艮  
 乙亥年 離 艮 乾 坤 震  
 甲辰年 坤 艮 乾 坤 震  
 年ノ十干 一 二 三 四 五 六 七 八 九

年ノ十干	一	二	三	四	五	六	七	八	九
甲辰年	坤	艮	乾	坤	震	艮	乾	坤	震
乙亥年	離	艮	乾	坤	震	艮	乾	坤	震
丙申年	兌	乾	坤	艮	乾	坤	震	艮	乾
丁丑年	中	巽	震	艮	乾	坤	震	艮	乾

有加五ノ年七十ノ時二十  
 十ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 十ノ時二十ノ時二十ノ時二十

一ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 二ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 三ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 四ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 五ノ時二十ノ時二十ノ時二十

六ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 七ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 八ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 九ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 十ノ時二十ノ時二十ノ時二十

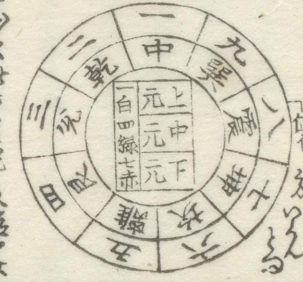
日ノ命令的殺を...  
 一ノ時二十ノ時二十ノ時二十  
 二ノ時二十ノ時二十ノ時二十

湖日年殺...  
 乙亥年...  
 丙申年...  
 丁丑年...  
 甲辰年...  
 乙亥年...  
 丙申年...  
 丁丑年...  
 甲辰年...

乙未の附より矩殺を...  
 丙申の附より矩殺を...  
 丁丑の附より矩殺を...  
 甲辰の附より矩殺を...  
 乙亥の附より矩殺を...  
 丙申の附より矩殺を...  
 丁丑の附より矩殺を...  
 甲辰の附より矩殺を...

よわうり又九つ年二の  
 九二年より少くとも九つ年  
 といへ果減すべし  
 三九年九星より少くとも  
 九つ年上元より少くとも九つ年  
 といへ果減すべし

三元九星盤



之州聖... 其の人... 年月日の時命的教とあるべし

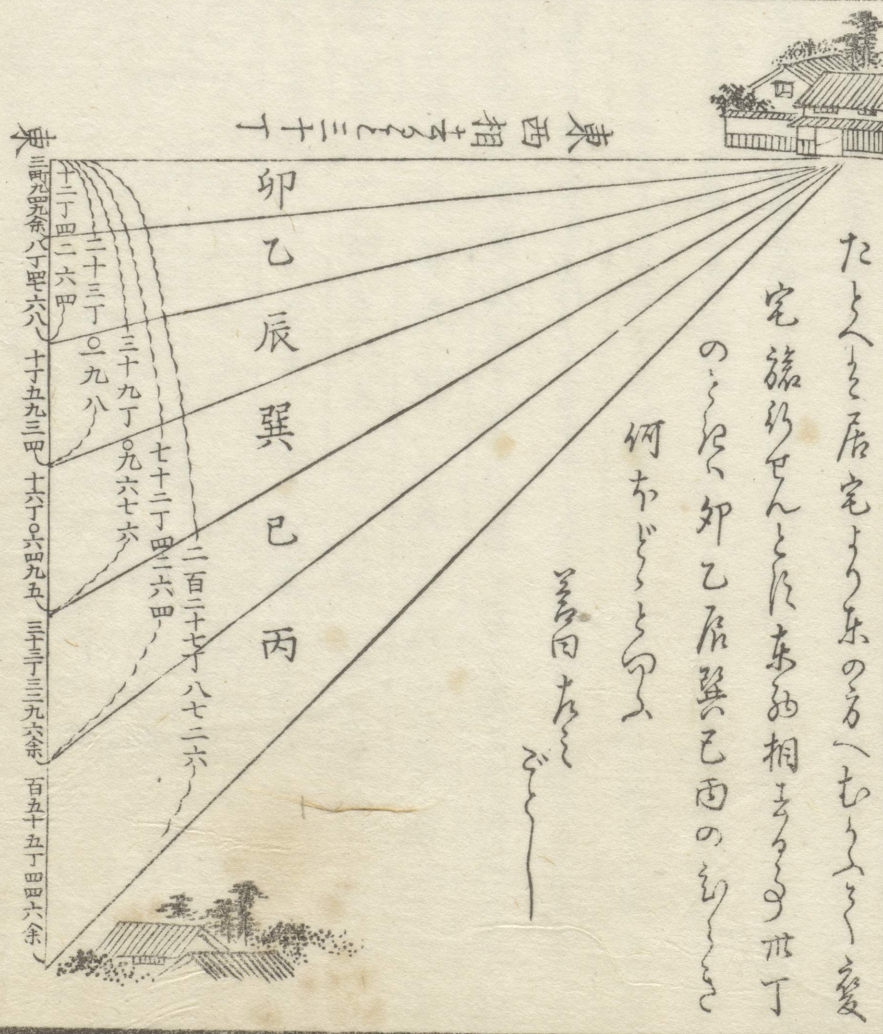
距離六十局ノ記表

一	甲子	十	甲戌	廿	甲申	卅	甲午	卅	甲辰	卅	甲寅
二	乙丑	十一	乙亥	廿一	乙酉	卅一	乙未	卅一	乙巳	卅一	乙卯
三	丙寅	十二	丙子	廿二	丙戌	卅二	丙申	卅二	丙午	卅二	丙辰
四	丁卯	十三	丁丑	廿三	丁亥	卅三	丁酉	卅三	丁未	卅三	丁巳
五	戊辰	十四	戊寅	廿四	戊子	卅四	戊戌	卅四	戊申	卅四	戊午
六	己巳	十五	己卯	廿五	己丑	卅五	己亥	卅五	己酉	卅五	己未
七	庚午	十六	庚辰	廿六	庚寅	卅六	庚子	卅六	庚戌	卅六	庚申
八	辛未	十七	辛巳	廿七	辛卯	卅七	辛丑	卅七	辛亥	卅七	辛酉
九	壬申	十八	壬午	廿八	壬辰	卅八	壬寅	卅八	壬子	卅八	壬戌
十	癸酉	十九	癸未	廿九	癸巳	卅九	癸卯	卅九	癸丑	卅九	癸亥

右距離六十局ノ用者法たとく壬子より乙未との距離を  
 おせんと致すと乙未を教二十二と並て定法六十とく  
 内壬子距離四十九とくは余りは十とくは余りは十とくは壬子より  
 乙未との距離六十とくは余りは余りは

又曰く先丙申の年の九星より  
 法より六距離を算すべし  
 丙申の距離を算すべし  
 九星の距離を算すべし  
 局域を七赤と坤と  
 八白と一白と九紫と  
 一紫と一白と一紫と  
 九星の距離を算すべし  
 三九毎月九星早りの法  
 たとく丑の月と九月と  
 九月方位を算すべし  
 九星の距離を算すべし  
 九月の方位を算すべし  
 九月の方位を算すべし  
 九月の方位を算すべし

二十四路向ノ方位ノ法





六十四卦洛書救

九紫夏至小暑大暑立秋  
 三碧處暑白露秋分寒露  
 六白霜降立冬小雪大寒  
 四綠穀雨立夏小滿芒種  
 七赤雨水啓蟄春分清明  
 一白冬至小寒大寒立春  
 亦夏至後秋分八月中秋後土  
 宜之日の方位を却てて秋分  
 壬寅の節を女井九と立てて  
 思慮減り余りともかへて  
 の其を後二の節光の多き  
 秋分後五二碧と始して赤  
 と二更じ赤中と一白と  
 赤巽と女井九と女井九  
 の九の方位を言ふるなり  
 右は洛書三元九宮の男女  
 本余の教八定命宮教の  
 の玉操りの法は法虫と出さ

八坤地	七二大畜	六八比	五二小畜	四一大壯	三八晋	二一夬	一八否
一七遯	二二兌沢	三七旅	四二歸妹	五二中字	六七蹇	七二損	八七謙
八六師	七三賁	六六坎水	五三家人	四三豐	三六未濟	二三革	一六訟
一五姤	二四隨	三五鼎	四四震雷	五四益	六五井	七四頤	八五姪
一四无妄	二五大過	三四噬嗑	四五恒	五五巽風	六四屯	七五蠱	八四復
八三明夷	七六蒙	六三既濟	五六渙	四六解	三三離火	二六困	一三同人
一一履	二七咸	三二睽	四七小畜	五七漸	六二節	七七艮山	八二監
八一泰	七八剝	六一需	五八觀	四八豫	三大有	二八萃	二乾天

其乾元離中居巽坎艮坤の八つを以て天地自然の六二三四五六  
 七八九の九はもと九教ふ是より然るに八卦を以て九教ふ有命す  
 るる子朱子の集注に「一合」を以て法の易虫も之をのせし系  
 際何れの虫九賦とて附会はるるも吐擧してこれに是るは  
 故に今茲より棲徑を以て主理を奉んをこれに乾の教に「一合」

はつらつ物成るとしては解  
 する所つらつ物の極秘を  
 けの浮揚たるは余種  
 の二方位を女ありと又ども  
 美法と著しと要と凡  
 故、只を要する方位を女  
 と奉て初学の便とすわりの  
 當妻とて知んては、  
 門をわくべ

十要の法

分	一	二	三	四	五	六	七	八	九
局	一	二	三	四	五	六	七	八	九
分	一	二	三	四	五	六	七	八	九
局	一	二	三	四	五	六	七	八	九

其書坤の八つを一合しては、又乾の教に二つありて書艮ハ  
 一と二と合して九と離の教より其書坎の六つありて六と相俟へ  
 て九と書巽の教より其書巽の五つありて五とお俟て九と書震の  
 けの教より書外に二つありて書内を論むる實に是れや、  
 一と二と合して九と離の教より其書坎の六つありて六と相俟へ  
 て九と書巽の教より其書巽の五つありて五とお俟て九と書震の  
 けの教より書外に二つありて書内を論むる實に是れや、  
 一と二と合して九と離の教より其書坎の六つありて六と相俟へ  
 て九と書巽の教より其書巽の五つありて五とお俟て九と書震の  
 けの教より書外に二つありて書内を論むる實に是れや、



河出於崑崙

八十一卦 洪範洛書之法

一	二	三	四	五	六	七	八	九
一	二	三	四	五	六	七	八	九
一	二	三	四	五	六	七	八	九
一	二	三	四	五	六	七	八	九

九卦算刻法

一 馬治水天下平象  
 吉 虎交而虞用解課  
 二 地中有釜金之象  
 咎 君子兼用賢課

易之變也難也... 變者氣之動也...

六五損	七四弱	八三危	九二遇	一一原	二九革	三八欣	四七盈	五六伏
七六競	八五革	九四囚	一三守	二二冲	三一見	四九廢	五八疑	六七郤
八七止	九六固	一五直	二四祈	三三從	四二開	五一廢	六九遠	七八詔
九八隨	一七闕	二六棄	三五育	四四公	五三豫	六二戾	七一迅	八九結
一九厲	二八親	三七興	四六章	五五中	六四昧	七三除	八二賓	九一養
二一成	三九舒	四八錫	五七遇	六六用	七五疾	八四堅	九三勝	一二潛
三二獲	四一比	五九寡	六八翕	七七分	八六報	九五壬	一四倍	二二三
四三晉	五二沃	六一飾	七九叔	八八戒	九七棣	一六蒙	二五常	三三交
五四升	六三虛	七二懼	八一實	九九終	一八須	二七易	三六壯	四五益

聖人八卦と他々字守り... 九卦算刻法... 易の象を以て

三 祥 太陽照樹中象  
 四 吝 月光照閣天下象  
 五 平 致中和万物位象  
 六 悔 地始凍水始冰象  
 七 災 乘隼船渡滄冥象  
 八 休 雷收声而水涸課  
 九 凶 火盛而生水象  
 洪 輒 颯風吹彼棘心課

八十一卦 洪範洛書之法

定也... 易の象を以て... 洪範洛書之法... 易の象を以て

河出於崑崙... 易大禹則出叙輒... 者更... 者... 者...

易大禹則出叙輒... 者更... 者... 者... 者... 者...

雜題

自然の教順逆

今自然の教二三三四五七八九ありの教とをふして九八七六五四三二一あり
やとる 善曰 左におと

今自然の教一二三四五六七八ありの教をさふして八七六五四三二一あり
やとる 善曰 左におと

今自然の教一二三四五六七八九ありの教をさふして九八七六五四三二一あり
七十一とははれを垂てぬをさふ 八七六五四三二とちうやとる

今自然の教一二三四五六七八ありの教をさふして七六五四三二とちうやとる
善曰 左におと

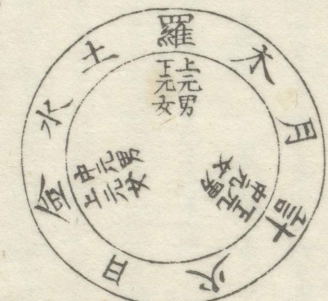
九峰受師父の流以著を極
内編其法洪範全書に載る
といふも初學者解之文はは
ゆへに余冊書し因て洪範新
書五冊と云ふては其本の
刻法筆指のまじり九卦の起
しやう動るまほ深の文をさふ
悪く和祥して刻しなれば
判後を加へて初學者の便り
して近刻せんとはよく出世
佐の著者十卷秘をて用ひて
みだり易術と誤して疑者
と違はるやと者はありは出
刻の時ぬんてんてんせせば
驟る天地の理と云ひて
臨文の吉凶日との運を羊
この福後生涯の業指法で
又いふに病を減減水火の

鴛鴦

今白玉のまふ石を十二とて...
白玉変るの...
善曰 左におと

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	カ	ヨ	タ	レ	ツ
●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

今白玉のまふ石十二をたのて...
善曰 左におと



柳田孝教の算法

流て三三又五五並並と  
 以て中元男令取算  
 方てはつねに針算し  
 ずり又上元の生三三三  
 女子の九算ゆんと向  
 善田 未取算  
 御田年三十三令て六  
 屏上元の女金取算  
 月ハ本算算を以余ハ  
 人の五姓を知る法  
 今年庚の年の人の  
 何姓にあたるもの  
 善田 全性  
 御田の元元元五姓  
 依て有成の数なるに  
 成ハ二なり令て七  
 内五とて令て余り三  
 五ニと金とて三

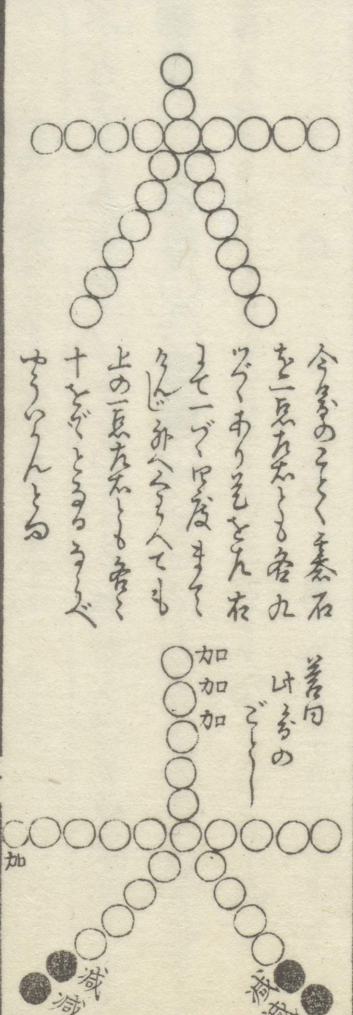
善田 全性  
 御田の元元元五姓  
 依て有成の数なるに  
 成ハ二なり令て七  
 内五とて令て余り三  
 五ニと金とて三

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	カ	ヨ	タ	レ	ツ	子
●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

善田 全性  
 御田の元元元五姓  
 依て有成の数なるに  
 成ハ二なり令て七  
 内五とて令て余り三  
 五ニと金とて三

善田 全性  
 御田の元元元五姓  
 依て有成の数なるに  
 成ハ二なり令て七  
 内五とて令て余り三  
 五ニと金とて三

今年庚の年の人の  
 何姓にあたるもの  
 善田 全性  
 御田の元元元五姓  
 依て有成の数なるに  
 成ハ二なり令て七  
 内五とて令て余り三  
 五ニと金とて三



五性表

一	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
二	丁	辰	巳	申	酉	戌	亥	子	丑	寅
三	庚	辛	壬	癸	甲	乙	丙	丁	戊	己
四	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
五	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙

又法

借彼人の元元元五姓  
 依て有成の数なるに  
 成ハ二なり令て七  
 内五とて令て余り三  
 五ニと金とて三

御田の元元元五姓  
 依て有成の数なるに  
 成ハ二なり令て七  
 内五とて令て余り三  
 五ニと金とて三

取とあるつづろく目安を知る

たとの八百八十九と垂て定法九を去ると子二百八十九と内取  
 の数とを去る則ち二百八十九と目安の数とを知る  
 又曰八百八十九と  
 垂て定法九を去ると子二百八十九と内取  
 の数とを去る則ち二百八十九と目安の数とを知る  
 又曰八百八十九と  
 垂て定法九を去ると子二百八十九と内取  
 の数とを去る則ち二百八十九と目安の数とを知る  
 又曰八百八十九と

御田の元元元五姓  
 依て有成の数なるに  
 成ハ二なり令て七  
 内五とて令て余り三  
 五ニと金とて三

御田の元元元五姓



七十九 八十九 九九... 此(加)分れ分れと... 七十九 八十九 九九

初め祖教の倍教十二ありの... 右の内一祖と主人祖と... 大坂 江戸 京へイイへ長きニニニ

二十人て二十重子の定局

Table with 10 columns and 10 rows of numbers and characters (一, 二, 三, 四, 五, 六, 七, 八, 九, 十).

愚筭と厭ふと妻を止るを文

女子一人男子一人を待てり... 日尊公吾女一老翁をよん... 又又吾女二十歳...

百	九十九	九十八	九十七	九十六	九十五	九十四	九十三	九十二	九十一	九十	八十九	八十八	八十七	八十六	八十五	八十四	八十三	八十二	八十一	八十	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ぬきをばイロを以て何れも  
 一の相文と成たるとハ一の九  
 二と成下敷成いたの六十八と  
 止又成れの十位と成十一成  
 るる如く成り成りイロハ  
 後のつらのは糸と成り  
 を重いと成り一人ハ成り  
 成りハ一の右二十成り二十  
 子の成り成り

あつたやと女子其思ひ女たるを  
 幼ワ止たりと五雜俎  
 ころ入るり

年をうご人ちうふ事

老嫗道に相傳りたりと一人白嫗の  
 老嫗道に相傳りたりと一人白嫗の  
 老嫗道に相傳りたりと一人白嫗の  
 老嫗道に相傳りたりと一人白嫗の

禁酒と酒の同根

或人の成りて禁酒三年せんといふ  
 成りて禁酒三年せんといふ  
 成りて禁酒三年せんといふ  
 成りて禁酒三年せんといふ

極楽集り道中記

大教の位と云ふ

徑、曰西方十萬億度、極楽世界ありと云ふ  
 徑、曰西方十萬億度、極楽世界ありと云ふ  
 徑、曰西方十萬億度、極楽世界ありと云ふ  
 徑、曰西方十萬億度、極楽世界ありと云ふ

或人市在と云ふ

或人市在と云ふ、或人の曰  
 大の靈代、或人の曰  
 或人の曰、或人の曰  
 或人の曰、或人の曰

事文類聚 引出入

地之極也とある亦伝  
八波の沈没家と云ふ所の老松  
伽藍の人の因縁者ありて  
仏を傍ら客を接待して其  
例と云ふいふ條に及べんと  
以美者大悪言と云く  
仏を罵辱せし客をまづ  
汝を罪と遠まら必れ地  
獄なりと若信せよんば美  
して之と云ふことと云者等  
以て考へられた地獄の事と  
初る通ず先又白く曰我道  
兩りゆしてこの世を去る  
まづとゆんやも若曰く地  
以因て倒さば地と固て起る  
ゆか汝若くは海して世間  
を滅するなり時を去る

百六十九

百六十九子と云ふ。○七也。○八也。○九也。○十也。○十一也。○十二也。○十三也。○十四也。○十五也。○十六也。○十七也。○十八也。○十九也。○二十也。○二十一也。○二十二也。○二十三也。○二十四也。○二十五也。○二十六也。○二十七也。○二十八也。○二十九也。○三十也。○三十一也。○三十二也。○三十三也。○三十四也。○三十五也。○三十六也。○三十七也。○三十八也。○三十九也。○四十也。○四十一也。○四十二也。○四十三也。○四十四也。○四十五也。○四十六也。○四十七也。○四十八也。○四十九也。○五十也。○五十一也。○五十二也。○五十三也。○五十四也。○五十五也。○五十六也。○五十七也。○五十八也。○五十九也。○六十也。○六十一也。○六十二也。○六十三也。○六十四也。○六十五也。○六十六也。○六十七也。○六十八也。○六十九也。○七十也。○七十一也。○七十二也。○七十三也。○七十四也。○七十五也。○七十六也。○七十七也。○七十八也。○七十九也。○八十也。○八十一也。○八十二也。○八十三也。○八十四也。○八十五也。○八十六也。○八十七也。○八十八也。○八十九也。○九十也。○九十一也。○九十二也。○九十三也。○九十四也。○九十五也。○九十六也。○九十七也。○九十八也。○九十九也。○百也。

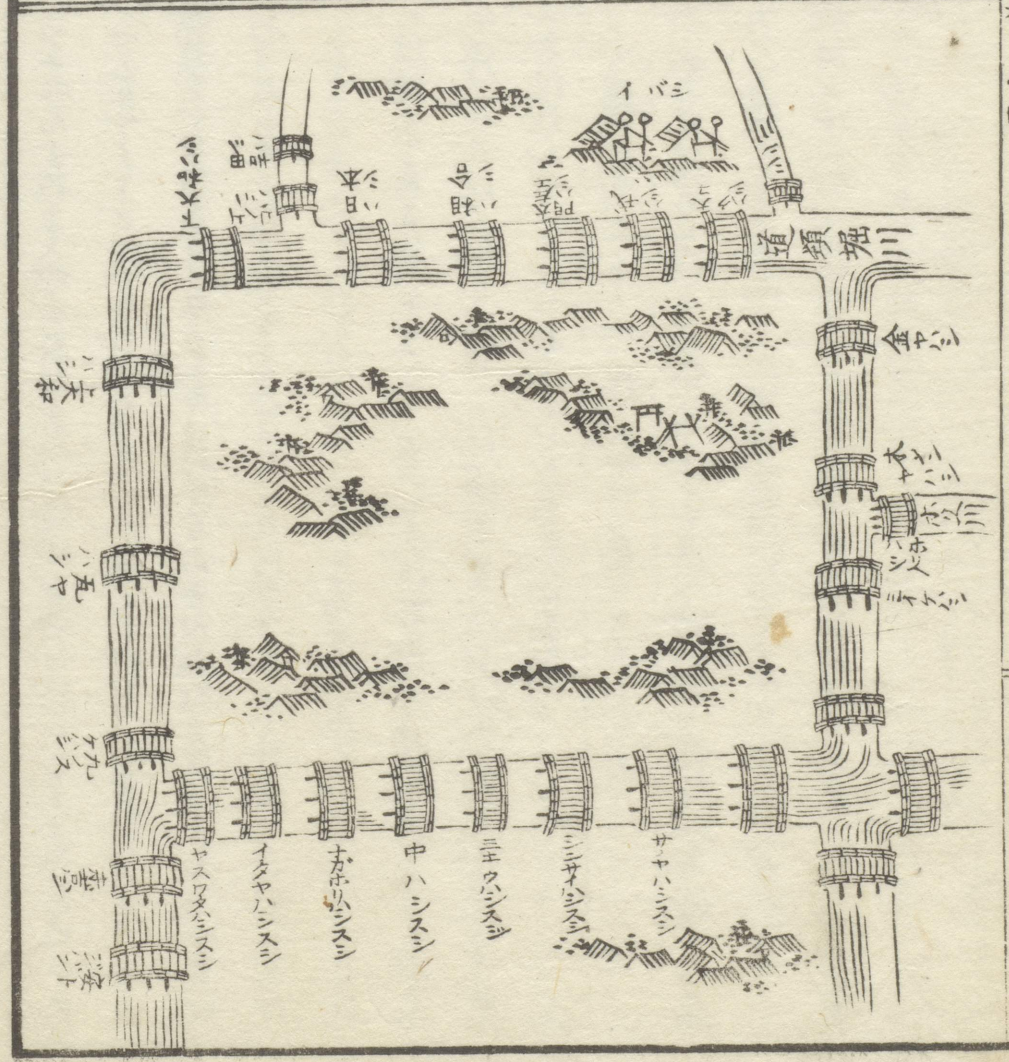
五の傷と云ふはと  
歎して先兆と後悔する者  
者曰汝は名業必れ天上  
生ん信せよんば美し  
之と云ふ美まふ女と  
て己が罪の滅するなりと  
て天よと云ふと大歎す  
遂に世を去るは法を修  
ふなり浮世は美者飛  
べし陸一又天よと云ふ  
いふ女と云ふと知れ  
とも事し又地獄極楽の  
事と知る法あり好みの  
ハ事しと云ふ法と云ふ  
この事なり

今世世に橋ありけしは橋かやうも後り始り同橋とて交海ぬ板  
たいて橋もとも苦うは九の橋橋(か)を来うやうよまをじ  
世後りす別橋板とて交海ぬ板と能く考へ後る時ハ自  
然と後まて板と橋板とをりや  
二十の橋や二天下の  
こころなり

浪花二十八橋 智恵

今世世に橋ありけしは橋かやうも後り始り同橋とて交海ぬ板  
たいて橋もとも苦うは九の橋橋(か)を来うやうよまをじ  
世後りす別橋板とて交海ぬ板と能く考へ後る時ハ自  
然と後まて板と橋板とをりや  
二十の橋や二天下の  
こころなり

夫れは... 留我... 中... 庫... 實... 作... 二... 外... 津... 是...



規矩術図解

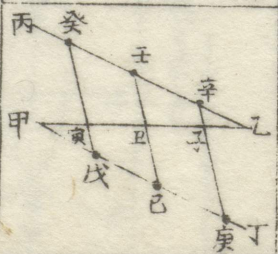
一直線を... の規矩

今... 規矩を... 用...

甲

矩... 乙... 丙...

規矩解



十... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...







外責 寛 按すこ小  
子 責 子粒大から

と此内外の寛面比例  
平均せるといふも子の扱  
全量小からいふは内外の  
寛面平均の合するに故  
外責と子を除き其寛を  
とかる理のゆかり學者  
は理の奇き此は御考  
と曉りては故に御考  
とこしは理と味ある

而して外 惣責 内責 寛  
責と解く 子 子 責

故に寛積とゆき相消  
矩合と求を除去と乗し

惣責 内責 寛  
責 子 責

之と 寛積 内責 寛  
子 子 責

解く 矩 内の長短徑  
合と解く撰と

之と 長巾 ①  
豆巾 昆巾

陽と乘し 長巾 陽 陽 長巾 陽

陽と除き 長巾 陽 陽 長巾 陽

倍小陽の 長巾 陽 陽 長巾 陽

除象と者く 長巾 陽 陽 長巾 陽

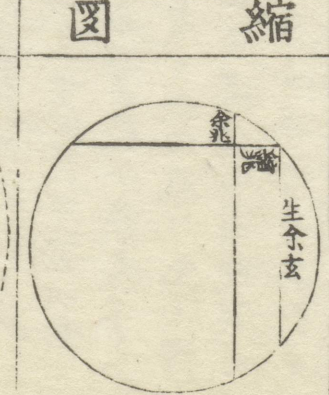
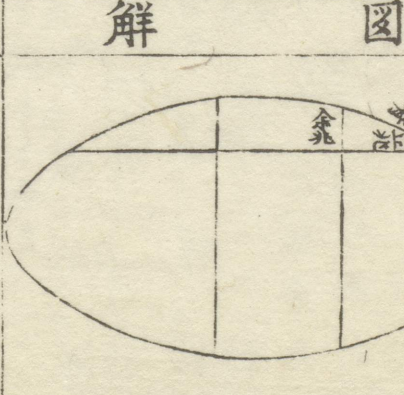
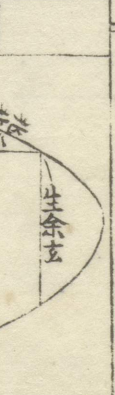
等象を 長巾 陽 陽 長巾 陽

加減 長巾 陽 陽 長巾 陽

反北 陽 長巾 陽 陽 長巾 陽

背巾 解く 長巾 陽 陽 長巾 陽

長巾と除乘 長巾 陽 陽 長巾 陽



玉ノッ 長ノッ 短ノッ

短ノッ 玉ノッ 長ノッ

短ノッ 玉ノッ 長ノッ

短ノッ 玉ノッ 長ノッ

短ノッ 玉ノッ 長ノッ

短ノッ 玉ノッ 長ノッ

短ノッ 玉ノッ 長ノッ

短ノッ 玉ノッ 長ノッ

短ノッ 玉ノッ 長ノッ

短ノッ 玉ノッ 長ノッ

之と 長巾 豆巾 昆巾

平方之 長巾 豆巾 昆巾

乗除と 長巾 豆巾 昆巾

者北 長巾 豆巾 昆巾

長巾豆巾差名 長巾 豆巾 昆巾

率 長巾 豆巾 昆巾

率 長巾 豆巾 昆巾

率 長巾 豆巾 昆巾

率 長巾 豆巾 昆巾

率 長巾 豆巾 昆巾

天名 長巾 豆巾 昆巾

北生周 長巾 豆巾 昆巾

背面 長巾 豆巾 昆巾

背面 長巾 豆巾 昆巾

背面 長巾 豆巾 昆巾

背面 長巾 豆巾 昆巾

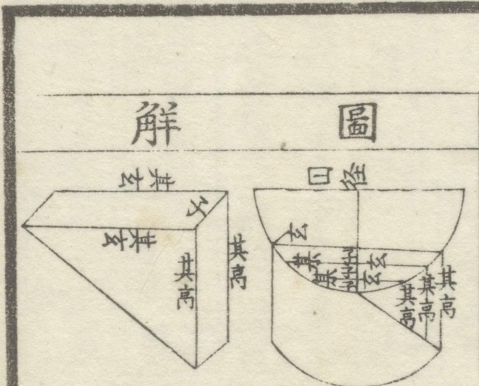
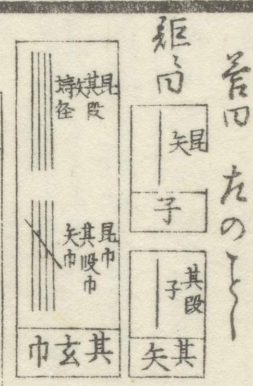
背面 長巾 豆巾 昆巾

背面 長巾 豆巾 昆巾

背面 長巾 豆巾 昆巾

背面 長巾 豆巾 昆巾

今圓のこゝに弧場あり  
 只も弦若于矢若于  
 若干弦の半より下の隅  
 へ之と裁と  
 裁換いえ  
 高



而も比例  
 高と求む其  
 高の其を乗て四除  
 之し其の股  
 の乘り其の  
 股の場を  
 九成表は依りて之

昆中 其股 高 矢中 其 二玄 高 矢中 其 三玄 高 矢中 其	昆中 其股 高 矢中 其 二玄 高 矢中 其 三玄 高 矢中 其	昆中 其股 高 矢中 其 二玄 高 矢中 其 三玄 高 矢中 其	昆中 其股 高 矢中 其 二玄 高 矢中 其 三玄 高 矢中 其
--	--	--	--

今圓のこゝに楕圓換あり斜よ之と裁  
 すと此長徑四寸短徑三寸又一寸楕  
 六寸裁面の積何徑と同

求之下のこゝ

豆屯 豆生 長屯 矢生 高昆 兆正 斜昆 兆余 高屯 高生	豆屯 豆生 長屯 矢生 高昆 兆正 斜昆 兆余 高屯 高生	豆屯 豆生 長屯 矢生 高昆 兆正 斜昆 兆余 高屯 高生	豆屯 豆生 長屯 矢生 高昆 兆正 斜昆 兆余 高屯 高生
--	--	--	--

解圖

而も正玄と一とを用ひて弧  
 術の依りて求む處の表ハの責なり  
 之と妻  
 四周率  
 四徑一  
 の責  
 帶直  
 離徑と以て除之ハ即  
 前求むる處の天高と等  
 帯直弧責  
 高天  
 長豆  
 天高  
 責覓

術口以長徑除豆徑擬弦以一箇擬圓徑依術求弧責及  
 離徑置離徑八之以圓周率相減相乘以離徑除之乘長徑  
 及短徑四除之得覓積合問

亦術口以長徑除豆徑擬弦以一箇擬圓徑依術求弧責  
 及離徑以倍弧積減圓積率乘圓積率及長徑及短徑四  
 段以離徑除之得覓積合問

高矢中  
高矢再  
高矢再  
裁責

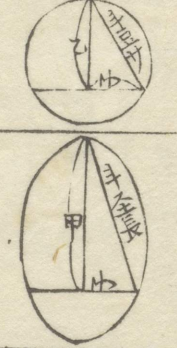
高矢中  
高矢再  
高矢再  
裁責

茲小於之善樹友の也  
樹曰以弦除矢巾四之加玄  
三段乘矢及高二十四除之  
得裁責合向

今圖のこく長玄圓あり  
長徑の端より斜よ裁之  
只言長徑六寸  
徑徑五寸斜守  
一す裁面の積  
及ハ周何ゆるる

高 積七歩の四六九二三余  
周九寸四分八七八八余  
矩よ回く  
豆乙差  
巾子

解



子巾と  
斗豆巾  
乙巾  
子巾  
合矩

乙豆  
合矩  
乙豆  
斗豆巾  
乙

例と比  
豆  
長  
甲乙  
例比

甲と  
斗豆巾  
斗豆巾  
甲  
而して矩  
合と求む

甲巾  
子巾  
斗豆巾  
合矩  
甲巾子巾と解く

之と  
長及差  
率名  
率  
陰  
生  
而  
長  
依  
圓

比例と  
生長  
生縮矢  
比  
故小生長  
矢と求む  
生長  
生縮矢  
生長  
生縮矢  
生長  
生縮矢

生余玄  
生長  
生縮矢  
生長  
生縮矢  
生長  
生縮矢  
生長  
生縮矢

同生長と  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長

同仮小  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長

上者之  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長

仮者く  
還と  
生豆巾  
生長巾  
生長巾  
生長巾  
生長巾  
生長巾  
生長巾

金名  
生豆巾  
生長巾  
生長巾  
生長巾  
生長巾  
生長巾  
生長巾

生平方小  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長  
生長

率  
率  
率  
率  
率  
率  
率  
率

金高の表、依り  
金高と解く  
周率  
率  
率  
率  
率  
率  
率  
率

九四五  
率再  
一〇三九五  
率三  
六四五三〇  
責面裁  
而して陰率と列し  
八象表と依り  
率  
率  
率  
率  
率  
率  
率  
率

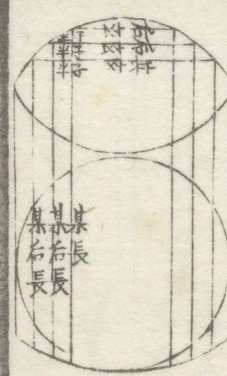


玄中 孤 高巾 高巾 玄中

術曰置高巾加埒徑中擬玄巾以埒徑除之擬口徑依孤術術求埒及積倍之得裁面責及周合問



圖解



周甲 高巾 孤甲 口徑巾 甲一廿 周甲 孤甲 責覓黑

之と撰之 除之と乘し 之と解之 之と解之

之と解之 之と解之 之と解之 之と解之

之と解之 之と解之 之と解之 之と解之

之と解之 之と解之 之と解之 之と解之

之と解之 之と解之 之と解之 之と解之

術曰以豆巾除斜徑自之乘長巾短巾差加二分五厘開平方加五分開平方以除斜徑擬短徑以斜徑擬長徑依摺圓周積術得裁面周積合問



今圖の... 減孤埒を斜小裁之... 高三寸 最次 裁面積及の 用何れとる

平方小 長高 陰故 長高 子名 長高 商解 長高 平方小 長高 陰故 長高 子名 長高 商解 長高

依 玄中 高巾 玄中





至中	其長比見
至中	其長比見
子背	比故
長二	例に
共長	其直共
背差	背差
其直	其直
其差	其差
其差	其差
其差	其差

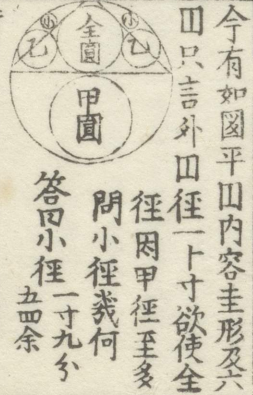
今茲、たとひ廻の図理、初学の士、小示を専一と、つくり、又、二、皆、成、回と、ぬ、く、を、復、す、者、筈、の、輕、を、後、大、事、を、な、れ、と、云、く

術口置持徑自乘之得穿去面上覓責合問

今有如图平山内容主形及六口只言外口徑一十寸欲使全徑因甲徑至多問小徑幾何

答曰小徑一十九分五四余

極數題



術口置二百二十二個開平方八之加四百七個十六之以除外徑二百四十五段得小徑合問

今有如圖主形内容口徑只言上斜与口徑和八寸欲使積至多向全徑及上斜幾何

答曰 全徑三寸余 上斜四寸九分九余

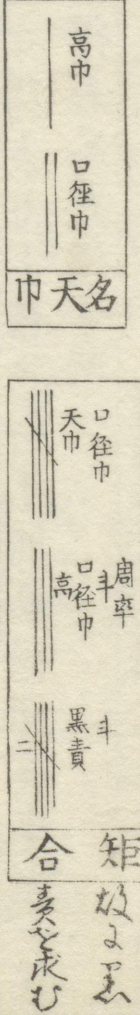
術口置五百個開平方内容減二千二個開平方加一個以除口言數得上斜合問

今有如圖釣股内容弧持及至多方面只言股一十寸問釣幾

答曰

白責二十四步 七十五分之二  
黑責二百四十一步六四〇七八六余

矩口此題、ち、る、の、ハ、前、理、と、同、く、や、依、り、ぬ、り、如、左



術口置高中加徑巾開平方以除高中與徑巾倍和子內減高乘徑巾六除之得穿去白責置子三除之以減圓積率因高乘徑巾半之得黑責合問

上内里責と減一  
面上の白責とと

右以て惣半  
責と減し

側圓輕題



今有如圖平山内容側口及甲乙丙口徑只言大口徑二寸問小口徑幾何

答曰 小口徑一寸

術口置大口徑半之得小口徑合問

今有如圖直形内容側口及甲乙丙口徑只言甲丙徑差三寸問乙徑幾何

答曰 乙徑二寸

術口置只言數除三得乙徑合問

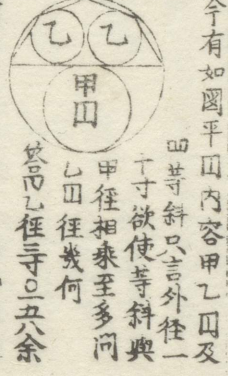
今有如圖平山内容側口及甲乙丙口徑只言外徑一十寸問甲徑幾何

答曰 甲徑二寸〇五〇八六〇四余

術口置外徑一十八百七十一段九千二百二十三除之得甲徑

真數合 七八位

何  
答曰鈞七寸七十一分  
術曰置五分開平方乘  
股得鈞合問



今有如圖平口內容甲乙丙及  
四等斜只言外徑一  
寸欲使等斜與  
甲徑相乘至多問  
乙丙徑幾何  
答曰乙徑寸〇五八余  
術曰置十八個開平方以減四個乘  
外徑九段二十五除之得乙徑合問



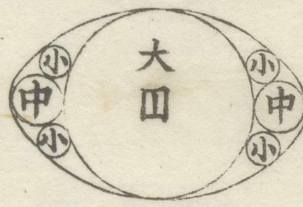
今有如圖菱面內開斜甲乙丙方面  
只言菱長七寸〇  
五十分〇寸〇五分  
菱平三寸三寸〇  
七十九寸欲使乙  
丙至多問丙方  
面幾何  
答曰丙方面一萬二千四百一十一寸  
術曰以長平半和除長開平方  
乘長平知內減長平半和倍之以  
除平中如長平知以除長因平得  
丙方面合問

堦積術

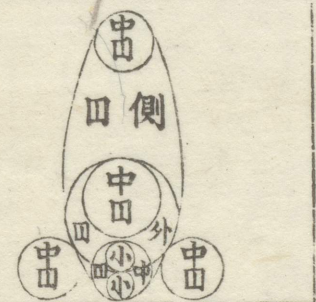
今有偶數平方堦四十六  
六十四百 段數八段問物積  
幾何  
答曰物積八百十六個  
術曰置段數四之加六個乘段數  
加三個乘段數三除之得物積合問

今有奇數平方堦一九廿五  
四十九 八十一 段數八段問物積幾何  
逐如此  
答曰物積六百八十個  
術曰置段數倍之自之內減一  
個乘段數三除之得物積合問

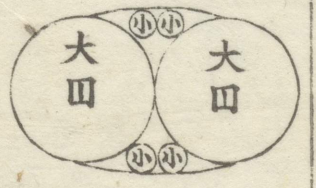
今有奇數再乘堦一二十七  
三百五十三 段數五段問物積幾何  
逐如此  
答曰物積一千二百二十五個  
術曰置段數自之倍之內減一  
個乘段數中得其積合問



今有如圖側口內容大中小口只言中徑一  
十寸問至少小口徑幾何  
答曰 至少小口徑四寸六分四一余  
術曰置十二個開平方內減三個乘中徑得  
至少小口徑合問

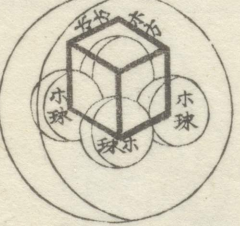


今有如圖直線上載側口容內外大中  
小口 乃大口周者切側口用及外中口周  
同內中口周者切側口長徑端 只言側口  
長徑十六寸問小口徑幾何  
答曰 小口徑三寸  
術曰置長徑除三得小徑合問

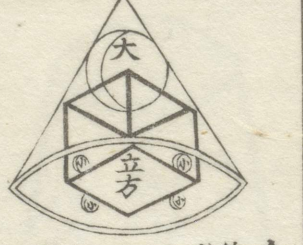


今有如圖側口內容大小口只言大口徑二十  
寸問至少小口徑幾何  
答曰 至少小口徑三寸〇二八余  
術曰置而二十五個開平方內減十一個半之  
開平方乘大徑得至少小徑合問

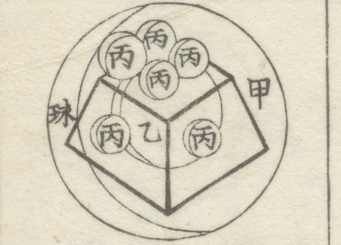
球題



今有如圖球內容立方面及等球四個 充內  
只言外球一十寸尚小球徑幾何  
答曰 等球徑方面三寸八分一四八八余  
術曰置十八箇開平方加一箇以除外球徑二  
段得小球徑合問



今有如圖圓錐內容立方面及大小球 乃立方面上  
錐周大球周者切立方上面及口錐周小周  
者切立方下面及口錐周與同下面 只言大球徑  
若干立方面若干尚小球徑幾何  
答曰 如左術  
術曰置五分開平方乘乘面加大半乘大以減面  
大和因面以子因大与面和除之得小徑合問



今有如圖甲球內容方臺及乙丙球 方臺上下四隅  
球周者充方臺內上下兩球周者切甲球周与  
隣球周下兩球周者切甲球周及方臺傍面 只言上方面若  
于丙球徑若干尚下方面幾何  
答曰 如左術  
術曰置上方中內減丙徑中子以除丙徑三乘  
中如子半開平方四之內減上方得下方合問

今有偶救再乘巾八空四三百六段救五段問惣積幾何

答曰惣積一千八百個

術曰置段救如一個乘段救自之倍之得惣積合問

今有物救不知其高只言以奇救再乘巾累減之余七百七十五個以偶救再乘巾累減之余三百個問惣救幾何

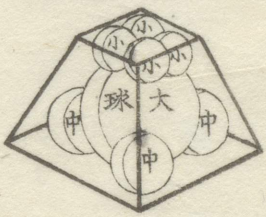
答曰惣救二千個

術曰置前後余差四除之開立方不盡得累減段救依前術得其救如其余得惣物救合問

今有倭救八千八百五十八億四九百二十三萬二千九百九十二億欲形積以其積地救為初下併整帶增下併一倭向初下併幾何

答曰初下併九千九百二十三億

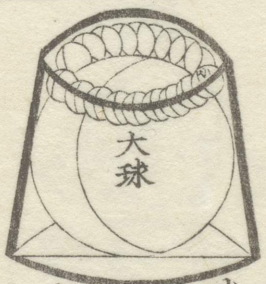
術曰置倭救六之七除之不盡開



今有如圖方基內容大球及其上下四隅中小球各四箇乃大球周者切四面及下面中球周者切四面及下面只言大球徑一十寸半之為中球徑問小球徑幾何

答曰 小球徑一寸七分三二五余

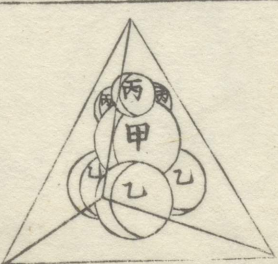
術曰置四十一個開平方以減九箇乘大球徑十五除之得小球徑合問



今有如圖圓臺內容大球乃切上其上環容小球救個只言上徑一十寸問得至小小球徑下徑乃自上幾何

答曰 下徑一十二寸八分〇九四三二八余

術曰置五分開平方如一個乃切下平方四除之加子半乘上徑得下徑合問



今有如圖三角四等面內容甲乙丙七球乃切甲者切三面乙球周者切二面及甲球周者切一面丙球周者切一面及甲球周者切二面只言三角面一十寸問丙球徑幾何

答曰 丙球徑八分七厘七八三七余

術曰置一個五分開平方移倍之內減一個五分開平方加子三段以減五個四除之乘面得丙徑合問

空方不不得初下併合問

今有相乘梁積假如二相乘為二二三相乘為六三四相乘為十二逐如此相併之其段救五段問惣積幾何

答曰 惣積七十箇

術曰置段救加三個乘段救加二個乘段救三除之得惣積合問

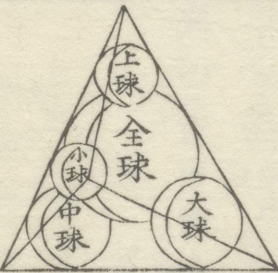
今有隔一拾相乘梁積假如一二相乘為二五六相乘為三十九十相乘為九十逐如此相併之段救四段問惣積幾何

答曰 惣積三百〇四個

術曰置段救八之內減三個乘段救內減二個乘段救倍之三除之得惣積合問

今有起席除式至救方乘之方式開方式而隨正肩及受級之多少有變態問得逐乘之變態通術如于

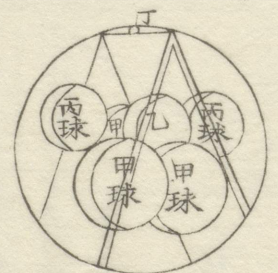
歸除式 一變  
答曰 平方式 四變  
立方式 十四變



今有如圖三斜錐內容五球乃全球周者切四面大球周者切三面中球周者切二面及全球貫全球上球之心而至上面又立三面中鈞者相等只言全球徑九寸六步上球徑三寸五分大球徑五寸六分中球徑五寸二分問小球徑幾何

答曰 小球徑五寸一分〇六六余

術曰以大除大全差巾名以中除中全差巾名加天以減上四段乾名以上除天地坤名四除之加乾乘坤開平方以減乾與坤半和名四除之加全乘人開平方以減全與人半和得小球徑合問



今有如圖球內隔圭形容甲乙丙丁球乃甲球周者切兩面乙球周者切四面及甲球周者切二面最多丙球周者切四面及甲球周者切二面及乙球周者切四面及甲球周者切二面及乙球周者切四面及甲球周者切二面只言丙球徑一十寸乃以外球徑三分之一為甲球徑以甲球徑以四分之二為問乙球徑幾何

答曰 乙球徑一十二寸四分三厘八毛余

術曰置八箇開平方名十三之以減六十五箇七分四十之人名以天四百五十段減千四百〇五箇名以天百二十六萬二千二百十六段減三百五十七萬八千八百八十八箇開平方以減地乘人及丙球

三乘式 四十六變  
 四乘式 百四十六變  
 五乘式 四百五十四變

術曰置三個如變教自乘俛如歸除者無變。平方者直。立方者自乘。三乘者再自乘。皆如此求之也。而得教倍之內減二個。幾乘中。此得變態教合問。

今有方基不知其段教上方面和一十二寸下方面和十八寸高和二十四寸。貢和九百十二寸。又云上方面逐差二寸下方面逐差三寸。高逐差四寸。問段教幾何。

答曰 段教三段

術曰上和二段加下和乘上逐差下和二段加上和乘下逐差併之乘高逐差名天上下逐差和巾內減上下逐差相乘余乘高和加天名地半之加

徑為實天十四段加五十七箇乘五百二十一以除實得乙球徑合問

交商術

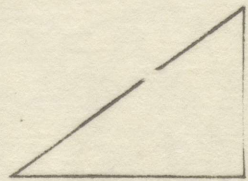
今有如圖鈞股形只言鈞巾与弦巾和三十寸積六步問同積之變鈞股弦幾何

變勺二寸八分二八四二七余

答曰變及四寸二分四二六四〇六余

變玄五寸〇九九〇一九余

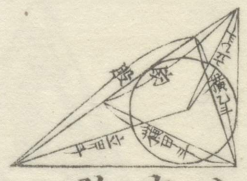
術曰以積巾三十二段減和巾開平方以減和四除之開平方得變鈞合問



今有如圖鈞股內容全圓及立橫甲乙斜只言甲斜若于乙斜若于隨其斜問全圓徑及弦幾何

答曰如左術

術曰置甲巾乘乙巾倍之開平方以減甲巾乙巾和開平方得全徑合問



積和十八段名上和下和之和巾內減上和因下和余乘高和及地十二段以減人巾開平方以減人以地除之開平方得段教合問

今有圭梁平方梁立方梁三積只言置平方梁積以三十三個累減之比圭梁積之等適又言置平方梁積以二百六十四個累加之比立方梁積之等適乃加減段積底問加減段教幾何

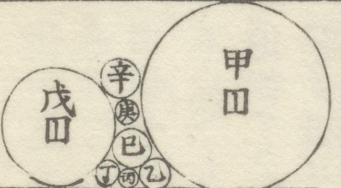
答曰加減度一十度

術曰置加教加減教四之加二個開立方止一也不得段教合問

今有四乘衰梁積二十八箇問底子幾何

答曰底子三個

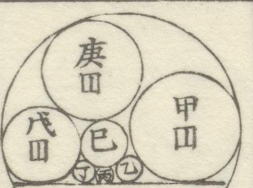
術曰置積五之開平方十二之開立方內減二個參不盡



今有如圖直線上載八口只言丙口徑五寸乃以丙徑九段為甲徑以丙徑三分之二為乙徑問辛口徑幾何

答曰 辛口徑四寸

術曰置丙口徑乘四以五除之得辛口徑合問



今有如圖平口內容七口只言甲徑百二十一寸或亦言百四十四寸乙徑二十五寸丙徑一十六寸問外徑或如前問幾何

答曰 外徑二百三十四寸八分三四三一余或辛徑百六十寸〇六六六余

術曰置甲乘丙名天開平方名地倍之加甲丙和名乘乙內減天二段乾名以減天坤名加天乘地及人及地乙差內減甲因天中乘坤四之以除乾三乘巾得外徑合問

蓋此題依員教又變形也學者察之

得底子合問

今有六乘衰聚積四十五個  
問底子幾何

答曰底子三個

術曰置積七十之開平方乘  
二十四二次開平方內減三個  
五分得一得底子合問

今有十乘衰聚積九十一個  
問底子幾何

答曰底子三個

術曰置積加一個乘二萬三千而  
個二次開平方乘十二開立方內  
減五個五分得一得底子合問

今有立方面不知其段數只言  
方面和五百〇七寸又云逐差守  
尚求得至多積和其段數及  
方面幾何

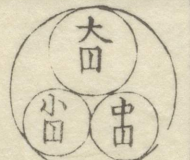
大方面七十五寸

答曰小方面三寸

段數十三

至多積和百廿三至七百寸寸  
術曰以逐差除面和倍之開平方  
得段數合問

異問



今有如圖平圓  
內容大中小圓  
只言外積九十  
〇步八分五厘  
又言中田徑寸小  
田徑差一寸問各田徑的幾  
何切細積解用

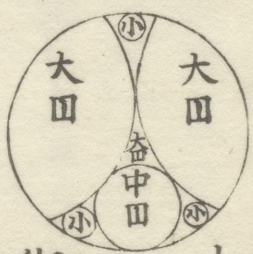
大田徑一十八寸

答曰中田徑九寸

小田徑八寸

術曰以田責率除外責加差  
中自約之得姑五列右加  
左三段及差二段乘左開平  
方得大田徑以左為小田徑  
合問

右ノ題ナルモノ古算書ニ  
九歸ノ術ニ依テ答之トア  
ル二本ツク也然レ本術ハ五  
乘方ノ開方式ヲ得ルモノニ  
ノ別ニ簡易術無ト知ルベシ

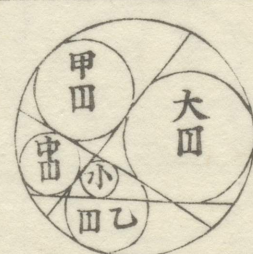


今有如圖三等田交內容中小田徑只言  
大田徑一十寸問中小田徑幾何

答曰

中田徑三寸七分七厘二一余  
小田徑一寸一分三厘八一八余

術曰置二十個開平方以与一十個相減  
方以与五個相加以除大徑得中徑合問



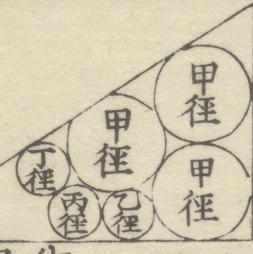
術曰置大中和乘小徑以減大因中以除天巾  
乘外四之內減地開平方以減外二段乘小以大中和除之得  
田徑合問

答曰

甲田徑二十四寸  
乙田徑一十四寸

右ノ題ナルモノハ大ニ貫通シテ種々算題トナル最面向キ  
通術ナルヘシ故ニ先哲此題ノ矩合ニ依テ八十餘ヶ條ノ算  
題ヲ撰ムニ至ル也學者能々勘考シテ其妙ヲ得ヘキ者也

雜題



今有如圖釣股內容六田只言甲徑若干  
問丁徑幾何

答曰 如左術

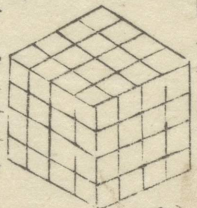
術曰置三個開平方內減一個乘方斜率  
四段加子名置方斜率八段加互三段內減九  
個以寅除之自之乘甲徑得丁徑合  
問

今有如圖釣股內容大中小各半田徑而其  
交罅容甲乙丙丁戊田徑只言大半徑五寸  
股六寸問甲田徑幾何

答曰 甲田徑四分二六九余

術曰置十二個開平方乘股加只言四  
段乘只言以股只差三段除之加股半以  
除只言因股得甲田徑合問

夫所行于世洛書者唯平形而已未見立方圖故今考之假令用自一至六四之子數列之於四方六面則其外面之縱橫角斜及表裏面之立橫串每行總之各得百廿之適數其列法如于 答曰如左

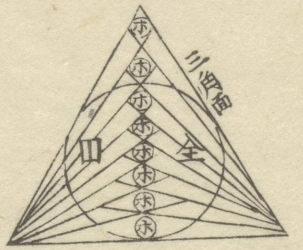


第一圖

四	三	二	一
九	八	七	六
五	四	三	二
一〇	九	八	七
六	五	四	三
一五	一四	一三	一二
一六	一五	一四	一三
一一	一〇	九	八

第二圖

三	二	一	四
八	七	六	五
三	二	一	四
八	七	六	五
九	八	七	六
四	三	二	一
五	四	三	二
一〇	九	八	七



今有如圖三角面內隔錯斜容全圓及八等圓只言全圓徑一十寸問等圓徑幾何

答曰 等圓徑一寸四分二五余  
術曰置六個圓平方移加二個圓平方地各加二個圓平方內減一個乘天及地以天与三個和乘全徑得等徑合問

今有如圖直線上載大中小三圓其左右容累圓個數假画右六個左五個只言求諸圓徑整數則至左累圓五個右累圓六個問大中圓徑幾何

答曰 大圓徑三十六寸  
中圓徑二十五寸

術曰置右個自乘之為大圓徑置左個自乘之為中圓徑合問  
右ノ他箇術數多アリト雖モ畧之

第三圖

四	三	二	一
九	八	七	六
五	四	三	二
一〇	九	八	七
六	五	四	三
一五	一四	一三	一二
一六	一五	一四	一三
一一	一〇	九	八

第四圖

三	二	一	四
八	七	六	五
三	二	一	四
八	七	六	五
九	八	七	六
四	三	二	一
五	四	三	二
一〇	九	八	七

右の他平形... 立横の洛書あり又立方... 縦横の洛書あり其外異形其数の洛書あり且その洛書毎各變りありたは二より十六の如く四方陣の洛書小變り六面有余よふなり其樹... 後畧しぬあれ心ふり... くる後ハはやく傳授... といふべき也

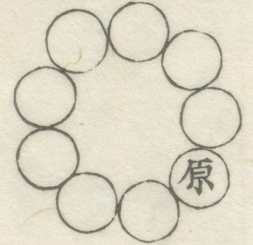
探索術

今有甲數六万五千九百三十六乙數四千。九十六問各幾自乘之得等數幾何

答曰 甲數再自乘之 乙數三自乘之

術曰置甲數以乙數除之若自法數得商數多則以法數幾度除實數自法數得少商數為要以商數十六除乙數乃法与商得等數止若其商數自法數得少數者以其商數除法數百一如此除之亦得法數一個以商十六累除乙數得除數三度故為乙數再自乘之得適數合問

列子術



今有碁子九個環列之定原子以當二順算四次脫去之又從次子以當三逆算三次脫去之又從次子以當四順算二次脫去之逐如此算之從原子所當第五個目者問從最初脫去當何度目

答曰 從最初當八度目

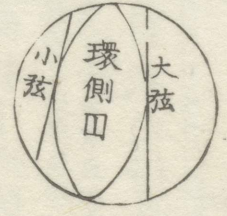
今起於一個至一万个其  
問單救幾何  
乃一三五七九十一如此謂單  
救二四六八十二逐如此名  
重救

答曰得單救如左

- 百箇以下 二十五件
- 二百箇以下 四十六件
- 三百箇以下 六十二件
- 四百箇以下 七十八件
- 五百箇以下 九十五件
- 六百箇以下 百一十件
- 七百箇以下 百二十六件
- 八百箇以下 百四十件
- 九百箇以下 百五十五件
- 一千箇以下 百六十九件
- 二千箇以下 一千二百二十九件

右二載スル所ノ洛書并  
單救ヲ得ルノ答術ハ  
後篇ニ著スモノ也

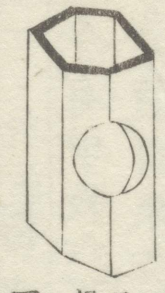
術口置總救九個加定一個為初左內逐減一個為對救  
以五<sup>五</sup>為右逐減順救二個若不減者至四次得左六以右  
四減左六余內減逆救三不減者加至三次得右三以右減左  
三內減順救四不減者加得左二逐如此求之至右空止之以  
左二減初左十得第八度目合問



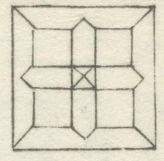
今有如圖平口內設大小弦環側口  
是即正截立環而所得之楕圓形者其短  
徑即環徑也如斜截偏截者自有別名也 只言環  
側口長徑若于短徑若于大弦若于小  
小弦幾何

答曰 如左術

術口置長徑中內減短徑中以大弦除之得小弦合問



今有如圖六角塼以口塼穿之乃六角塼  
口塼心平行而兩塼心  
相交而如十字線也 只言口塼徑若于問交  
周六角塼面與口塼周相幾何  
交之地名之謂交周也



今有田字環呂  
外方面若于輪徑  
若于問惣積幾何  
答曰 如左術

術口置外方內減輪徑乘口積  
率三段內減輪徑乘輪徑中二段  
得田積合問  
又求寬積者如左  
術口置外方內減輪徑二段乘輪  
徑六段得惣寬積合問  
右以右法訖之新術著別卷

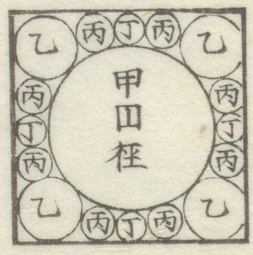


今有如圖減孤極  
側口內容直形只  
言長徑若于短徑  
若于直長若于問  
直平幾何  
答曰 如左術

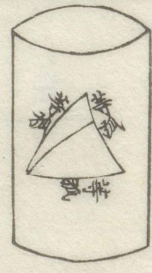
矩口謂減孤極側口形者即  
斜截減孤塼所得之者也其  
短徑即孤塼中腹之挾徑而為

答曰 如左術

置三擬短徑中依側口周術求側口周以短徑除之  
得交周率乘口塼徑得交周合問



今有如圖方面內容甲乙丙丁口徑只  
言丙口徑一十寸問丁口徑幾何  
答曰 丁口徑八寸五分三厘五九余  
術口置五今寔平方加一個半之乘丙  
口徑得丁口徑合問



今有如圖口塼以三角塼斜穿之乃兩  
相交而下面與口塼心  
等孤與側口周同規 只言三角面若于口  
塼徑若于所貫三角塼中心徑若于  
問穿去實積幾何  
答曰 如左術

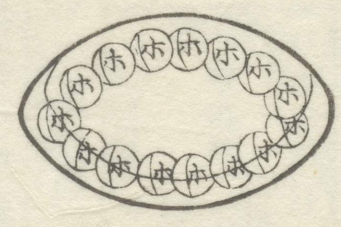
不食要而截面孤圓最夕也如偏截或不至孤圓最夕者自有別名也

術曰以短徑除長徑巾加短徑半之銘自之內減直長巾

今有如圖衡長六尺乃從其至戊重七百目於甲乙丙所試之所受甲重四百目乙重三百目甲乙相距五尺七寸衡紐有丙甲丙相距一尺五寸錘有已其重

一之目已點俗今又丙六八之為重心問乙已相距幾何  
答曰乙已相距四尺六寸  
術曰置甲乙長五尺七寸內減甲丙長一尺五寸乘衡重七百目與錘重一

術曰以口持徑除三角面自之名置七分五厘開平方乘三角面巾及中心徑二除為原救乘于一乘三除為一差乘于一乘六除為二差乘于一乘七除為三差逐如此求之置原救減諸差得穿去實積合問

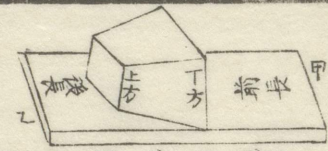


今有如圖環楯矮立口載立環得楯形者名曰環楯口其短徑則環徑也今歸環楯矮立口者從環楯口之規而作矮立口也內容等球箇救鄰相親其徑最充內無動假十三個只言環楯矮立口全積若于問隨等球個救得短徑術如于

答曰 如左術

術曰置王積率三之自之乘隨球個救角中徑率加王積率以除全積開立方得短徑合問

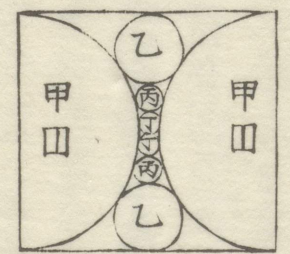
之目和得七十而四十目內減受甲重四百目因甲乙長五尺七寸即二十而得四十八百六十目以錘重一之目除之得乙已相距四尺八寸六分合問



今有如圖板上載方蓋只言板長一又上方面八寸下方面一十寸蓋長六尺寸板面而於甲乙兩端拳之其重相等也向板面前後長短幾何

答曰 後長一尺七寸二五 前長二尺一寸七五

術曰置上方下方和中名加下方中二段乘蓋長地名以上方因下方減天四之以除地以減板半長得後長合問



今有如圖直形內容甲口其罅乙丙丁戊口個救四個八個十六個三十二個逐如此假畫個只言甲口徑一十寸問個救乙口徑幾何

- 容四個乙口徑五寸
- 容八個乙口徑二寸九二八九三二余
- 容十六個乙口徑二寸九八九九一五余
- 容三十二個乙口徑二寸九二四二五二余
- 容六十四個乙口徑二寸九〇六〇三三余

術曰置二個為四個法開平方加二個為八個法開平方加二個為十六個法開平方加二個為三十二個法開平方加二個為六十四個法逐如此求之以甲徑為通實以其法除之得其口徑合問  
此題者不抱累口奇偶個救有逐求各累口徑綴術即別卷記之



輕題愚問

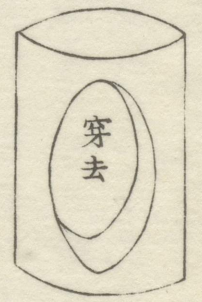
今有積幾乘方圓之不用開  
除法問得其商規矩術

今以法救若于除實救若于  
得商位相併之九八七六五四三  
二各不尽棄之乃得商一八二七  
併之為九亦得商一七二六逐如此者  
二位相併之為八余皆廢之  
問得實法通術如于



今有如圖圓莖  
中央穿主形只  
言上徑若于下  
徑若于高若于  
斜若于中鈞

若于向穿去積幾何  
右ノ三心 主ヲ易題ト雖  
モ余之コ 好ニニ 世向術共  
ニ之ヲ記サニ 欲スルニ既ニ彫  
刻ニ限リアリ故ニ只術ヲ畧シ  
テ此梓面ノ挾間ニ合ス學者  
必ス術ヲ備ムト思フコト勿レ



今有如圖橢圓筒穿橢圓筒其心與  
相交只言橢長徑一十寸橢短徑六  
寸去長徑二寸去短徑一寸向穿去  
覓積幾何

答曰 穿去覓積一步五七一五〇六四二余

術曰以橢長徑去橢短徑自之名西東相乘之以減西南加西  
倍之名置西乘南北名置西三之加南名加天名加  
天名逐如此求支救置去長短徑四積率一乘乘為  
原救乘東及西一乘二除為一差乘子三乘六除為二  
差置一差乘北二乘六除以減二差因丑五乘六除為  
三差置一差乘北四乘八除以減三差因寅七乘八除  
為四差置三差乘北六乘一十除以減四差因卯九乘  
五除為五差逐如此求之置原救加諸差得穿去覓  
積合同〇此術比古書甚簡易而求諸差省乘救一  
次學者可察之

昭明算法序

豫州

山崎源五郎源真辰撰

余嚮二聞ク洛陽ノ棟豊後ナル者博ク算術ハ知ラスシテ謾リ  
二人ノ非ヲ拳ルノ癖アリト今ヤ照闇算法ノ出ルヲ見テ其  
實ナルヲ知レリ甚シキ哉彼レ我武田先生ノ著ス所ノ階梯  
算法及ビ算法便覽ノ正題ヲ見誤リ自ラ邪論ヲ設ケテ邪  
術狂題ト詭リ或ハ舊師阪先生ノ著ス所ノ算法學海ノ術  
ヲ見損シ自然使然ノ異論ヲ立テ其餘諸算家ノ正術ヲ曲  
テ邪術トスルコト攀テ計フベカラズ故ニ初學ノ士普然ト  
シテ手ヲ措ク所ヲ知ラズ照闇却テ迷闇ナル哉先生之ヲ  
歎シテ彼レカ邪論ヲ極シキ終ニ一書ヲ撰ンテ名ヲ昭明  
算法ト曰フ是實ニ太陽ノ万物ヲ照スカ如キヲ表スルナリ  
今茲ニ其緊要ナル者一二ヲ採テ之ヲ記シテ階梯便覽等ノ  
題術誤リ无キヲ昭然トシテ明ラカナルヲ擧ル是只初學ノ惑  
ヒヲ開ク而已ナラス且ツ先師ノ勞切ヲ思ハルハ亦夕厚カラスヤ

昭明 算術 法 教書

評曰本書ノ題ナルモノハ四言ヲ以テ限リトスルコト定例ナリ然ルニ大斜中斜小斜中鉤新求積ノ五言題スルコト一言ノ蛇足ヲ添ルト言フモノナリ故ニ宜シク一言ヲ欠クヘシ且ツ答術モ亦迂遠ナリ此ニ依テ今題術トモニ改之如左

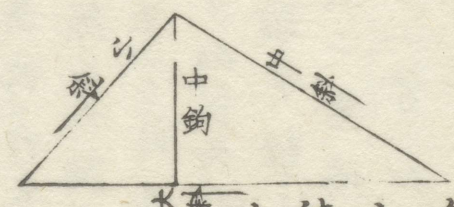


今有如圖三斜只言大斜二十八寸中斜二十五寸小斜十七寸今以積二萬五千四百寸相應之間三斜反

中鉤幾何 答曰如本書 術曰別求中鉤乘大斜半之以此除積開平方乘中斜得新大斜 除積開平方乘中斜得新中斜 除積開平方乘中斜得新小斜 合問

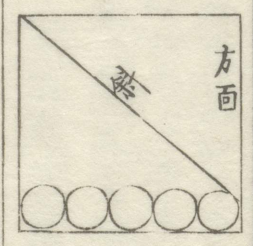
照闇算術卷之二第三十一

今有如圖三斜大斜二十八寸中斜二十五寸小斜十七寸中鉤十五寸今以積二萬五千四百寸相應之作三斜時問各



答曰新 大斜三百〇八寸 中斜二百七十五寸 小斜百八十七寸 中斜百六十五寸

術曰置去積倍之乘大斜以中鉤除之平方開之得新大斜乘中斜以大斜除之得新中斜乘小斜以中斜除之得新小斜各合問 照闇算術卷之二第廿四 今有如圖方面內容等圓箇數假面五箇而設斜欲使



方面及設斜不下分位其斜若干問得圓數術 答曰如左術 術曰置斜加一箇半之得圓數合問

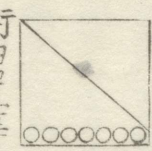
評曰此一則ハ文政十二戊子年八月東武米村定次郎尚壽ノ著ス温知算叢二載ル所ノ邪術ナリ如何トナラバ斜ヲ定寸トシ圓ノ箇數ヲ得ルノ術ナシ乃シ其證示スコト左ノユトシ

九ノ如ク斜十三寸方面十二寸ヲ用ヒテ彼レカ答術ニヨツテ圓數七ツヲ得ル此七ツヲ以テ方面ヲ除ケハ圓徑一寸七分一四有奇ヲ得ル此圓徑ハ下方面ト五ト二附クト雖モ斜ニ附カス故ニ虛題邪術ナリ蓋シ此ノ如キ見易キ矩合モ見誤ルハ全ク足本ノ常用算未練ナルユヘナリト知ルヘシ依テ初學ノ予カ示ス所ノ法術ヲ能ク修練アルベシ

評曰右二載ル所ノ温知照闇ノ二書俱ニ誤ルコト首書ニ載ルカ如シ故ニ改之如左

抑此題ナルモノハ斜若干等圓徑若干ヲ題シテ等圓箇數ヲ得ルモノ定例ナリト雖モ等圓箇數ニ依テ方面寸分位ニ下ルモノナリ然レニ本文ノ題中ニ方面斜分位ニ下ラスト言ヘリ故ニ斜一言ヲ題シテ圓數ヲ得ルコトヲ問フモノ最モ面白キ題意ニシテ交シテ虛題ニラスト雖モ惜ヒ哉答術書損アルカ真數ヲ試ルニ合ハサルナリ亦據此此題大ノ分位ニ下ラスト言フ意ニ通セサルニヤ斗十三寸ヲ設ケテ自然ノ方面ヲ求メス只私ニ方面十二寸ト定ムルカ故ニ虛題トナルナリ夫斜十三寸トシテ圓數七箇ヲ容ル者ハ方面九寸六分七厘八五五等圓徑一寸三分八厘六分五厘得ルモノナリ然ルトキハ彼レカ言フ方

百ト斜ト五ノ三所ニ等四周切スル者ナリ今其術ヲ記スコト左ノコトシ



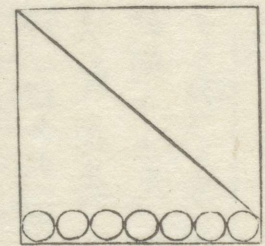
若干問隨等圓筒數等四徑幾何  
答曰如左術

術曰置等四筒數二段內減一筒束筒數名極內減筒數加二分五厘開平方加五分乘斜以極除之得等四徑合問

料	筒數	方面
十五寸	三筒	十二寸
百四十五寸	十五筒	百〇五寸
五十五寸	半五筒	二万〇三百〇寸

木村氏答術右試數二合ハサルナリ故ニ改正之如下

六之内減原筒數及二筒為乙筒數六之内減甲筒數及二筒為丙筒數六之内減乙筒數及二筒為丁筒數逐如此求之而置筒數二段內減一筒乘筒數為其斜內減筒數加二分五厘開平方加五分得其圓徑者帶等數合問



術曰置一筒為原筒數三之為甲筒數七筒使方面及斜不可分位問等圓筒數及其斜幾何  
答曰如左術

昭明算法拔書

今有如圖方面內容斜及等圓筒數七筒只言斜若干等圓徑若干問等圓筒數幾何  
答曰如左術

術曰置二筒開平方乘等徑以除斜一得筒數合問

照闇算法卷之三第八

一今有甲乙數其差五百九十五筒又去甲乙相乘開平方無不盡問甲乙數

答曰 甲數千〇七十一 乙數四百七十六

術曰置五百九十五筒乘九以五除之得甲數合問

評曰此一則ハ文政三庚辰年浪華住人武田篤之進源之字ノ著ス階梯算法ニ載スル所ノ狂題ナリ今變數三件ヲ左ニ記シテ其狂ヲ示ス

- 甲數 七百二十 乙數 百二十五
- 甲數 六百七十六 乙數 八十一
- 甲數 六百十二 乙數 十 八

斯ノ如ク何レモ皆題問ニ適スル故ニ狂題タルコトヲ知ルシ是レ全ク是本ノ當用算ノ未練ナルニナリヨツテ初學ノ士能々心得ベシ

昭明算法拔書

評曰此題九ノモハ整數術ノ題ニシテ題辨能ク備リ決シテ狂ヒ乱ルモニアラス答數ニ變數アルニ然ルニ彼レ之ヲ知ラスシテ狂題ト言ハ何フヤ抑狂題ト言ハ答數定マリナクシテ如何ヤクニモナルモノヲ言フナリ今此題ノ如キハ變數ノ外ニ答數アルコトナシ其解義ヲ明サニ市ヲ四トシ市ヲ九トシ九ト四ノ差ヲ五トナス茲ヲ以テ差數ヲ置テ九ヲ乘シ五ニ除キ甲數トスルモノナリ故ニ意ニ隨テ多數中ト少數中トヲ設ケ相減シテ法數トシ差數ニ因ル多數中ヲ除ク為要 甲數ヲ得ルモ

ノナリ是即チ整數術定例  
 ナリ然ルニ彼レ此理ニ通セス謾  
 リト狂題ト誹謗スルコト論スルニ  
 足ラレ旨算ト言フニ初学ノ士  
 彼レカ妄言ニ迷ラトナカレ尚ヨ  
 改正ノ術ヲ見ルベシ

評ニ曰ク此題ナルモノハ銀高ヲ  
 置テ金相庭ヲ以テ除之ハ金高  
 三十二兩ヲ得ルコト定例ナリ  
 此金高三十二兩ニ打銀二厘ヲ  
 乘シ六分四厘トナリ是即チ其  
 日ノ相庭ニ依テ得ル処ノ打銀  
 高ナリ以テ銀高ヲ減シ余リニ

今有如甲乙數其差五百九十五箇又去甲乙相乘  
 開平方無不尽問甲乙數幾何

答曰如左術

術曰置差數自約之得五箇次七箇次十七箇而  
 設隨意多少數以少數巾減多數巾得自約數者為要余以  
 除差數因多數巾得甲數合問

照闇算法卷之三第二十六

今有銀二貫四十八匁買金只去每兩打銀二厘出之  
 代金三十二兩永九百九十文請取之問金相庭幾何

答曰金相庭六十四匁

術曰以銀高除打銀因金高以減定法ニ分五厘余開  
 平方以減五分余以除打銀得金相庭合問

評曰此一則ハ文政七甲申年武田篤之進源真元ノ著ス算  
 法便覽ト去書ニ載スルヨシ予ガ友先年濱州へ下向ノ砌リ  
 船中ニ於テ同船人ノ所持スルヲ寫ス所ナリ扱此条ノ答術ハ

也四七及三分六厘トナル是  
 即チ打銀高ヲ引拂フテ清ル  
 銀高ナリ是ヲ亦金相庭ヲ以  
 テ之ヲ除ハ即チ三十二兩永  
 九百九十文トナルナリ是清  
 取金高ナリ如此正術ナルヲ  
 知ラズシテ此題意ニ背クヲ外  
 題記シテ我師ノ正術ヲ邪術  
 ト誹謗シ初学ヲ迷ハスコト

何ゾヤ彼レ如此日用算スラ  
 見誤ル愚算者ニシテ何ツ  
 諸家ノ奥儀ヲ知ラヤ実捧腹  
 ニ堪タリ此他阪先生ノ学海或ハ  
 閃人福田氏力速成等ノ評林悉ク  
 昭明算法ニ載ス分故ニ爰ニ累ス

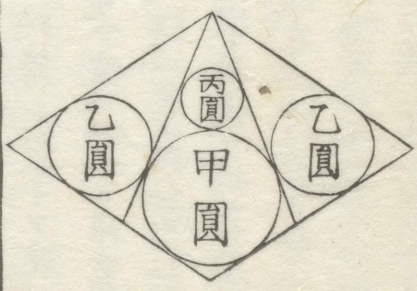
邪術ニシテ取ルニ足ラス如何トナラハ題數ヲ異ニスルト  
 キハ答數ヲ得ス答數ヲ得サルモノハ邪術ナリ題數  
 モ相違アリ乃チニメ四十八匁ト去ハ非ナリ二貫〇四拾  
 七匁九分九厘九毛八ナリ今題數ヲ替へ而シテ予カ  
 正術ニ及ヒ解義ヲ施ストキハ左ノ如シ  
 今有以銀三百十五匁一分九厘買金只去兩每打  
 銀三厘出之代金五兩請取之問金相庭

答曰金相庭六十三匁

術曰以代金除代銀內減打銀金得金相庭合問

蓋レ此題ハ高人ノ小供店ニテ取扱フ所ノ日用算帰除  
 術ナリ然ルニ本書ノ術平方ヲ用ヒ邪術ヲ施ス者ハ全ク  
 點鼠ニ遺ハレタルナリ依テ初学ノ士能々心得ベシ

社盟算譜

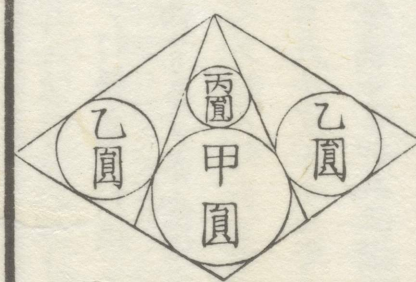


今有如圖按面內隔斜容甲乙丙圓徑只言按長若干按平若干欲使丙圓徑至多問乙圓徑幾何

答曰如左術

術曰別求面倍之加長乘長倍之平方開之加長內減面二段余以除平巾加面二段名極自之內減長巾余平方開之以減極余乘平以長除之得乙徑合問

評曰右題ナルモハ算法階梯下卷第十五ニ出ルト雖モ其術書失アルカ故ニ之ヲ邪術トシ右ノ如ク社盟算譜ニ出スト雖モ甚迂遠ナリ故ニ之ヲ改正スルコト左ノゴトシ



今有如圖按面內隔斜容甲乙丙圓只言按長八寸按平六寸欲使丙圓徑至多問乙圓徑幾何

答曰乙圓徑二寸一分九厘三毛二七六余

術曰別求面加長半名天乘長開平方加天乘天長差開平方加天以除天因平倍內減平得乙徑合問

